

第2回湖西市新庁舎建設ワークショップ 議事要旨

日 時：令和6年10月12日 10時～12時

場 所：湖西市役所3階 委員会室

出席者：13名

傍聴者：8名

ファシリテーター：愛知大学 地域政策学部 教授 菊地裕幸 氏

(1) 次第

- 1 開 会
- 2 情報提供
- 3 ワークショップ
・新庁舎に必要な機能について
- 4 その他

(2) 議事要旨

1. 情報提供

他自治体の新庁舎建設に係る事例をパンフレットなどで情報提供しました。

2. ワークショップ

ファシリテーターによる進行のもと、湖西市新庁舎建設基本構想で定めた4つの基本方針に基づき、参加者から新庁舎に必要な機能についての意見が出されました。

【1. 誰もが安心して使いやすく快適なサービスを提供する庁舎】

| | |
|-----------|---|
| 障害者対応 | 視覚障害者向けの点字ブロックや点字プレート、聴覚障害者向けの筆談や視覚的な案内の充実、手話対応職員の配置、車いす利用者向けの広い通路やエレベーターの設置が提案されました。 |
| 窓口業務の改善 | 短い移動距離で利用できる窓口の配置や、車いすが通りやすい動線、外国語表記の充実が必要。また、視覚的に認識しやすいよう、ピクトグラムやイラストを用いた案内を導入すべきという提案がありました。 |
| 親子スペースの設置 | キッズスペースや授乳室、おむつ交換スペース等の設置により子育て世代向けの設備充実が提案されました。 |
| 外国人対応 | 外国語対応のためのタッチパネルや翻訳機能付き案内板の導入が提案されました。 |
| 駐車場の活用 | おもいやり駐車場の設置はもちろん、災害時の拠点やイベント会場としても駐車場の活用方法を検討すべきという意見が出されました。 |
| カフェスペース | 住民が交流できるカフェスペースを設置し、地域住民や学生が気軽に集える場として活用すること提案がありました。一方でカフェスペースは利用頻度が低くなる可能性もあるため、市民だけでなく職員も利用できる場と |

| | |
|---------|---|
| | すべきという意見が出されました。 |
| 内装の木材利用 | 木材を利用した内装により、落ち着いた雰囲気を作り、居心地の良い空間づくりが提案されました。 |
| 学生の居場所 | 学生が雨風をしのげ、時間を過ごせるスペースを庁舎内に設けることが提案されました。 |

【2. 機能性、効率性、生産性の高い庁舎】

| | |
|-----------------------|--|
| 受付業務の集約・ワンストップサービスの提供 | 受付業務を1箇所にとりまとめ市民の利用が多い部署は低層階、専門部署は2階以上に配置することで効率的な動線の確保のほか、おくやみワンストップサービスなど、市民にとって利便性の高い窓口サービスを一本化するという意見が出されました |
| 効率的な動線 | 部署ごとの移動距離を短縮し、効率的な動線の設計する、AIを活用した視覚的な情報提供手法が提案されました。 |
| メンテナンスを考慮した設備 | 設置後のメンテナンスを考慮した設備を選定すべきという意見がありました。また、無人コンビニの導入について企業事例に基づいて提案されました。 |
| 空調環境の改善 | 現庁舎は空調の効率が悪いとの指摘があり、庁舎構造、空調システムにより効率の良い環境を検討すべきという意見が出されました。 |
| 通路、エレベーターの改善 | 通路を広く設置し、移動しやすい動線を確保すべきという意見が出されました。 また、エレベーターの広さや防災機能の向上も必要です。エレベーター内に防災用具を収納できる設備やベンチを設置すべきという意見が出されました |
| 議場の活用 | 議場はフラット構造とし、未使用時は会議室や多目的室として活用することが提案されました。 |

【3. 「こさい」を感じられる庁舎】

| | |
|--------------|--|
| 湖西らしさの反映 | 湖西市の自然環境や伝統行事、新居関所などの地域資源を反映させた庁舎デザインやモニュメントや特産品の展示を通じて、庁舎で「湖西らしさ」を感じられる空間づくりが提案されました。一方で外観や装飾にコストをかけることに反対する声があり、建物の機能性や耐震性、免震性に予算を優先して充てるべきだという意見がありました。 |
| ハード、ソフトのバランス | 庁舎の外観で「湖西らしさ」を表現するハード面と、展示物や文化的要素を充実させるソフト面を組み合わせることが提案されました。 |
| 特産品の活用 | カフェなどの施設を設置する場合は、湖西市の特産品を取り入れたメニューの提供や、特産品の販売が提案されました。 |

【4. ゼロカーボンに配慮した庁舎】

| | |
|------------|---|
| エネルギー効率の改善 | ソーラーパネルの設置や屋上緑化など、ゼロカーボンを考慮した設備導入が提案されました。また、エネルギー効率を高めるために偏光ガラスを採用 |
|------------|---|

| | |
|---------|--|
| | 用し、室内の温度上昇を抑える工夫を検討すべきという意見が出されました |
| 持続可能な設備 | 太陽光発電を利用した照明設備の導入や、将来のメンテナンスを見据えた設備を選定すべきという意見が出されました。 |

【5. その他】

| | |
|------------------|---|
| 商業施設用の設備やスペースの増設 | 商業施設等を入れることになった場合、設備やスペースは後から増設が難しいため、建設時にスペースだけでも設置しておくことが提案されました。 |
| 複合化前の施設の活用 | 新庁舎建設後の健康福祉センターや市民活動センターの行政機能として使用していたスペース活用について検討しておくべきという意見が出されました。 |
| 将来の人口データを考慮した設計 | 人口推計データを基に、過剰な規模・設備にならないように庁舎の規模感や予算を考慮すべきという意見が出されました。 |